

10周年記念式、ふるさと歌謡ショー



6月18日(日)、道の駅丹波マーケスココミュニティーホールにて、京丹波ほたるの里発足**10周年記念ふるさと歌謡ショー**を企画させていただきましたところ、多数の参加をしていただきありがとうございました。招待客26名を含め総勢100名となり、プロ歌手3名の盛大な歌謡ショーとなりました。大成功に終わりましたこと誠にありがとうございました。又、招待者のお土産として、きのこおこわ、黒豆かりんとう、黒豆もろみを作成していただきました女性部の皆様にはお忙しい目に合わせて申し訳ございません。ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

ほたるの里が発足10年を迎え、式典ができるのも会員様のご理解とご協力のたまものと思っております。厳しい農業情勢の中で「美しいふるさとをみんなの力で守っていこう」のスローガンを掲げ、頑張ってきたいただきました。中でも丹波の特産品黒大豆を作付けしての10年間、苦労豆と言われるぐらい手間がかかり、天候に左右されやすい作物、されど丹波のブランド黒大豆を守っていこうとの心意気でお世話になってきました。さらに、昨年加工部門を設立し、お菓子、お弁当、味噌・もろみの制作に努力していただいております。加工についても大変厳しい世界であることを感じております。しかし慌てず、焦らず、楽しみながら歩んでいきたいと思っております。

今後も京丹波ほたるの里が繁栄しますことを目指し努力していきたいと思っておりますので会員の皆様絶大なご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

黒大豆の定植完了・土寄せ作業進む

6月10日(土)、11日(日)と6月17日(土)に機械定植と、手植え作業、延べ人員、総勢53名(会員25名、京都府食の応援隊28名)でお世話になり完了しました。今年は晴天続きとオペレータの丁寧な耕うん作業で機械定植もスムーズに進み、手植え作業も全員「なかよくん」採用で、楽々、時間の余裕を持って出来ました。定植された黒大豆が日照り続きで心配しておりましたが、しっかりと取りつき、日照り状態の中で成長してくれている。ありがたい。さらに、1回目の亜リン酸散布、捕植も完了し、ほたるの里始めて以来のこよせ作業が全体の4割出来ました。そして今日、天からの恵(雨)をいただき、黒大豆がより一層元気になり成長するであろうと思っております。耕うん作業、定植、こよせ(土寄せ)作業をスムーズにお世話になりありがとうございました。厚く御礼申し上げます。今後、状態を見ながら、土寄せ作業を進めて行きますのでよろしくお願い致します。

コシヒカリの中干時期来る

ついこの前田植えをしたのにもう中干の時期が来ました。根に害となるガスを抜き、新鮮な空気を入れ根の伸びを促進させる。又、田んぼの表面を固くすることで秋作業を容易にするためにもよろしくお願い致します。コシヒカリ6月21日～、キヌヒカリ6月28日～

美しいふるさとをみんなの力で守っていこう